

景観シーンの構成パターン解析手法の開発とその実用性 - その 2 -

正会員 姫野 由香*2 佐藤 誠治*1
小林 祐司*2 矢作 裕之*3

モディファイ法 景観シーン 構成パターン 観光パンフレット

1. 研究背景と目的

景観に関する市民、自治体をはじめとした諸団体の関心が高まるなか、景観の解析手法として多くの方法が提案されてから久しい。しかし、現在の景観整備はデザイナーや行政の経験に委ねられたものが多く、全体の傾向として景観の解析的手法が生かされているとは言い難い。

そこで、前報「景観シーンの構成パターン解析手法の開発とその実用性 - その1 -」で解析的に景観の特徴を把握する従来の景観解析手法の長所を活かしつつ、景観整備の有効な具体的知見を示すことのできる景観解析の手法として提案した「モディファイ法」を用いて、本報では実際に景観シーンの解析を試みることを目的とする。

2. 研究方法

前報と同様、できるだけ多くの景観シーンの構成パターンを知るため、大分県全体を扱った行政機関発行の観光パンフレットより、屋外を撮影した画像（以下、観光景観画像とする）を景観シーンとして435枚抽出した。そして抽出された観光景観画像にみられる景観シーンの構成パターンを、モディファイ法を用いて解析する。

3. モディファイ法による景観シーンの構成パターン

前報にて確認された観光景観画像を構成する35の観光景観資源がモディファイ法概念図（前報 図2参照）のどの構成位置に出現しているのかを分析した。また、その際、1人の主観に偏ることを避けるため、事前にモディファイ法概念を周知させた6名により、1人ずつ435枚全ての景観シーンについて分析してもらい、相違があった場合は、全員で再検討をし、その結果が6名全て一致した観光景観画像435枚の結果を「表1. 構成パターン」に示す。

表1. に見るように、大分県を紹介した観光パンフレットに登場する景観シーンの構成パターンは、モディファイ法により大きく6つに分類され、それぞれE₂最奥面又は、Obが存在するかどうか等で、細分化され、細かく見た場合、18パターンに分けられることが明らかとなった。更に、それぞれの構成パターンごとに、構成する面に投影される観光景観資源の出現頻度を集計し、構成パターン毎の構成面における総数で除し百分率で表示したものが表1. である。ここでは紙面の都合上、構成図大分類のみ

の説明を行う

3-1 .A 類

1つの景観構成要素のみで画像が構成されておりその要素は視線方向に立ちはだかるように存在する。つまり、この類型では登場する観光景観資源は必ず主景となる。出現頻度の高い観光景観資源には山や現代建築物、石像などである。

3-2 .B 類

A 類では確認できなかった複数の景観構成要素の重なり合いの景観シーンを構成する。この構成タイプでは主景となる景観構成要素はE₀E₁のどちらにも現れ、出現頻度の高い観光景観資源は山や歴史的 現代建築物、植物があるが主景となるのは歴史的 現代建築物が殆どである。

3-3 .C 類

F面に投影される観光景観資源とその上に乗るように存在するObで画像は構成されている。しかし同様に1面のみで構成されているA類と違うのは1面に投影される景観構成要素が1つだけでない点である。細分類にみるようにF面に段違いで海市街地といった複数の面的な観光景観資源が存在する。

3-4 .D 類

この構成パターンに属する画像サンプル数が非常に多いことからC類のような構成パターンであれば、観光パンフレット等選ばれた景観として登場する可能性が高いことが理解できる。また、主景の多くがE₁やObに存在し、町並みといった都市景観そのものを写し込もうとした画像も多く認められる。

3-5 .E 類

B類にF面が加わった景観シーンの構成となっている。このことにより、B類には見られなかった奥行きを感じさせる構成パターンである。E₀E₁面に山や植物、建造物が多く登場し、E₂面に観光景観資源とはされていない山が見られる。

3-6 .F 類

この構成パターンに特徴的はS面に景観構成要素が投影され、必ずF面には河川や道といった線的な観光景観資源が存在する点である。更に、S_LS_R面には山や歴史的町並みといった資源が多く登場する。つまりアイストップがある場合や無い場合といった多少の違いはあるものの、この構成パターンに属するものは一般的にビスタ景観とよばれる景観であることが分かる。

The Development and the Utility of Method

Analyzing the Composition Pattern of Landscape Scene -part 2-

HIMENO Yuka, SATO Seiji, KOBAYASHI Yuji, YASAKU Hiroyuki

4. 総括

本研究で得られた結果を以下にまとめる。
前報で提案されたモディファイ法により、大分県の観光パンフレットに見られる景観シーンの構成パターンは A 類から F 類まで大きく 6 つに分かれることが明らかとなった。更に距離系だけでなく、3次元空間を構成するどの位置に、何が登場するのかという分析を行うことで、各々の構成パターンに見られる観光景観資源の特徴を明らかにした。

また、できるだけ偏りの無い景観画像の抽出の為、大分県「全域」を紹介した観光パンフレットから研究サンプルを抽出したが、導出された6ないし18の構成パターン以外にも面の組み合わせが可能である。景観整備をおこなう際の有効な知見を得る為には、今後このような構図タイプの解析とともに、各々の面の特徴的な景観構成要素の組み合わせを変化させることで、新たに、どのような景観が考えられるのか、またそれらの景観を評価する必要がある。

表 1 . 構図パターン

(単位 : %)

構図大分類	A		B		C		D				E					F																						
	Eo		Ei		F		E1		E2		F		Eo		E1		E2		F		Eo		E1		E2		F		Eo		E1		E2		F			
	主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副			
	主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副		主		副			
観光景観資源	緑景観	山	26	3	29			19	21	13	3	14	4			17	17				4			19	19													
		草原																																				
		植物	9	14	7	8			2	13	1	17				2	2	80						8	4	1	19	15										
	水景観	河川	3			7						11	11																									
		滝																																				
		湖沼			7				4																													
	自然現象	湯煙																																				
		霧氷																																				
		霧		8																																		
	動物	人																																				
		動物					12																															
	人文景観資源	伝統行事	祭・伝統行事	3						1	7																											
			建造物																																			
		歴史的建造物	歴史的建造物	3	25	29			19	2																												
			現代の建造物	6	3																																	
像・石碑			15	8	21			24	4	1																												
橋		橋																																				
		橋																																				
観覧施設		歴史的観覧施設																																				
		現代の観覧施設																																				
		動物・植物園	12																																			
		観覧温泉																																				
体験型施設		道																																				
		公園																																				
		遊戯施設	12			11																																
		歴史的温泉施設																																				
	現代の温泉施設	3																																				
湯つば	湯つば																																					
	湯つば																																					
商業施設	商業施設	9	17																																			
	商業施設																																					
交通	交通施設																																					
	乗り物																																					
複合型資源	歴史的街並み																																					
	現代の街並み																																					
	郷土景観																																					
	市街地景観																																					
その他	山			7	73	19				2	24	37																										
	道																																					
	広場																																					
	人																																					
	緑																																					

*1 大分大学工学部建設工学科 教授・工博
*2 大分大学工学部建設工学科 助手・工修
*3 大分大学大学院工学研究科建設工学専攻博士前期課程

Prof., Dept. Architectural Eng., Oita Univ., Dr. Eng
Research Assoc., Dept. Architectural Eng., Oita Univ., Mr. Eng
Graduate School of Eng., Oita Univ.